

平成 28 年度第 2 回通常理事会議決

平成 29 年度
事業計画書

平成 29 年 4 月 1 日から

平成 30 年 3 月 31 日まで

公益社団法人日本植物園協会

【平成29年度事業計画】

I：植物園及び植物に関する科学技術の振興や自然環境の保全と文化の発展に貢献するための調査及び研究（公1）

(1) 調査及び資料収集

1. 海外事情調査

調査先 ボゴール植物園・チボダス植物園・国立フラワーガーデン・
トロピカルフルーツガーデン(インドネシア)

期 間 平成29年11月12日（日）～17日（金）

負担金 157,500円

参加者 15名

その他 隊長：岩科 司（国立科学博物館筑波実験植物園園長）

ボゴール植物園調査報告の協会HP掲載、協会誌投稿

2. 植物園概要

正会員のデータ更新調査の実施、概要データは植物園ライブラリに掲載する。

3. 国際活動

ボゴール植物園開園200周年の記念式典（5月18-19日）に岩科会長を派遣する。

開催されるIABG（国際植物園連合）と、ベトナムで開催予定のSEABGN（東南アジア植物園ネットワーク）の会議へ代表を送る。

外国よりの要請に積極的に関与し、国際貢献に努める。

(2) 生物の多様性保全

1. 種苗交換

11月上旬に種苗交換植物リスト募集と「絶滅危惧植物種の種苗交換」案内を配布し、取りまとめて1月末に冊子を配布。

2. 植物多様性保全拠点園事業

①絶滅危惧植物保有状況調査

52回大会にて経過報告と、未提出園に依頼。

②絶滅危惧植物保全データベース

分科会の開催。各正会員園10種ずつのノルマを目指して拠点園中心に inputs。

③絶滅危惧植物の情報取り扱い検討

種苗交換時に「情報取り扱いガイドライン」を配布。

④植物多様性保全拠点園ネットワーク活動

- ・ニュースレター刊行配布（No. 23～No. 25）
- ・拠点園連絡会議（関東、西日本、中部にて開催）
- ・特定植物保全拠点園活動
- ・種子収集

・東北津波被災地の絶滅危惧植物保全の支援（現地から移植、植物園で栽培して系統保全を図る等リスク分散の観点から各園に協力を依頼）

⑤外来植物の対策等

3. ナショナルコレクション活動の展開

ナショナルコレクション事業の概要パンフレットを作成し、活動内容の理解を図る。また、植物園が保存しているナショナルコレクションの募集を開始し、申請があれば審査を行う。コレクション保有調査の継続。

4. ワシントン条約にかかる寄託管理事業

経済産業省よりの寄託管理事業の継続

(3) 学術や文化の振興

1. 第52回大会行事

担当：大阪市立大学理学部附属植物園

会期：平成29年6月7日（水）～9日（金）

会場：大阪市立大学杉本キャンパス・植物園

- ・ 定時総会
- ・ 開会式
- ・ 協会表彰
- ・ 研究発表会（口頭発表、ポスター発表）
- ・ 分野別会議
- ・ 委員会活動報告
（植物多様性保全・ナショナルコレクション・教育普及・将来計画検討・海外事情調査隊など）
- ・ 意見交換会
- ・ 植物園研修：附属植物園ガイド
- ・ 平成29年度 大阪市立学国際学術シンポジウム「人と植物の共生—都市の未来を考える—」

2. 植物研究会・技術者講習会

技術者講習会

担当：東京大学生態調和農学機構

期日：平成29年7月6日（木）～7日（金）

内容：花ハス/武蔵野の林

担当：武田薬品工業(株)京都薬用植物園

期日：平成29年8月26日（土）～27日（日）

担当：東南植物楽園

期日：平成29年

内容：植物観察

植物研究会

担当：越前町立福井総合植物園

期日：平成29年

3. 「日本植物園協会誌 第52号」

平成29年11月発行（総ページ数120p.）

4. 分野別活動

□第1回目は各分野とも大会開催時に実施

■第1分野（第53回国立大学植物園長会議・植物園協会第一分野拡大施設長会議）

担当：広島大学大学院理学研究科附属宮島自然植物実験所

期日：平成29年

■第2分野（第35回国公立植物園運営会議）

担当：東京都夢の島熱帯植物館

期日：平成29年

■第3分野

担当：住友林業緑化株式会社

期日：平成29年10月

■第4分野（生薬学会開催大学）

期日：平成29年9月

場所：第64回生薬学会会場（東邦大学薬学部薬用植物園）

II：植物の栽培や自然環境の保全等についての教育及び普及啓発（公2）

(1) 講演会・シンポジウム・展示会

事業並びに関連団体等との積極的連携（共催等）

1. シンポジウム

①植物園シンポジウム（共催）

「江戸の花 さくらそう 園芸文化シンポジウム」

期日：平成29年4月23日（日）

会場：東京都神代植物公園

②江戸の園芸文化を守ろう（共催）（公社）園芸文化協会（公財）東京都公園協会

「江戸の園芸朝顔作りABC」 期日：平成29年6月2日（金）

「江戸の朝顔 歴史と鑑賞」 期日：平成29年7月8日（土）

「朝顔の鑑賞と奥義を聞く」 期日：平成29年8月1日（日）植物園セミナー

③シンポジウム

内容：キュー植物園園長講演、その他

会場：東京大学弥生講堂 一条ホール

期日：平成29年9月16日（土）

④植物園シンポジウム

「江戸時代の妙薬と薬草」

期日：平成29年11月18日（土）

会場：内藤記念くすり博物館附属薬用植物園

2. 展示

- ①「新宿御苑みどりフェスタ」(平成 29 年 4 月 29 日)に出展

(2) 普及啓発資料の発行

1. ガイドブック、書籍

刊行物の頒布に努める

(3) 普及啓発資料の提供

1. パネル・データ貸出

生物多様性・植物の保全等を目的としたパネル・データの活用促進

2. 植物園資料ライブラリの運営・更新

(4) キャンペーン

1. 「植物園の日」(5月4日) 事業

広報素材(ノボリ)を活用した協会アピールに努める、協会ホームページの投稿欄に関連行事案内・報告を掲載

植物園の日に絡めたイベント展開を図る

2. 絶滅危惧植物マーク広報

マーク制定の意義を訴え、マークの活用を促進する

3. 自然災害被災地支援事業

①東北大地震

イ.被災地への花のタネの提供などの支援

ロ.宮城県岩沼市「玉浦西地区まちづくり」計画への復興支援

②熊本地震

(5) 表彰

1. 表彰

大会時に規程に基づく表彰を行う

植物園功労賞 木村賞 坂崎奨励賞 Aboc・CULTA 賞

(6) 教育普及活動

植物園および植物に関する教育並びに普及啓発の活性化を目指し、活動する。

Ⅲ：目的の達成に必要な関連事業

1. 後援及び協賛等

当協会の名称を必要とする事業に積極的に関与し支援する

2. ホームページ活用及び広報活動

公益法人として必要な情報の更新

3. 諸会議

1. 第52回定時総会

日時 平成29年6月7日（水）

会場 大阪市立大学杉本キャンパス・ 学術情報総合センター（大阪市住吉区）

2. 役員会・委員会等

【理事会】

第1回通常理事会 平成29年6月7日（水）（大阪市立大学内会議室）

第1回臨時理事会 平成29年12月（事務局）

第2回通常理事会 平成30年3月（事務局）

上記の他、必要に応じ臨時理事会を開催する

【執行役員会】

必要に応じ、年度3回以上の執行役員会を開催

【監査】

・監事の要請により、少なくとも年度1回以上の監査を行う

【委員会】

各委員会は委員長の判断、役員会の要請に基づき各担当事業の推進を図る

・研究発表委員会

・植物多様性保全委員会

絶滅危惧植物保全データベース分科会

絶滅危惧植物の情報取扱い分科会

絶滅危惧植物保有状況調査分科会

外来種対策分科会

・ナショナルコレクション委員会

・国際交流推進委員会

・ホームページ委員会

・協会表彰候補者選考委員会

・植物園シンポジウム企画委員会

・将来計画検討委員会

・教育普及委員会

・選挙管理委員会（奇数年活動）

4. その他

・関連団体等との連携、提携、協力

国（環境省・国土交通省・農林水産省・文部科学省・経済産業省）

地方自治体

公益社団法人 園芸文化協会

公益社団法人 日本動物園水族館協会

公益財団法人 日本博物館協会

公益財団法人 東京都公園協会

・協力要請

研究機関、地方自治体等からの協力要請、相談への対応